

2月

# 新着本の紹介



青字は児童書

書名	著者名	内容
心淋し川	西條 奈加	江戸の片隅、小さなどぶ川沿いに立ち並ぶ古い長屋。住民たちは人生という川のどん詰まりでもがいていた。懸命に生を紡ぐ人々の切なる願いが胸にしみる連作時代小説。 【第164回 直木賞受賞作】
押し、燃ゆ	宇佐見 りん	ままならない人生を引きずり、祈るようにアイドル上野真幸を推すあかり。ある日、真幸がファンを殴って炎上し…。デビュー作「かか」が三島賞候補になった21歳の第2作。 【第164回 芥川賞受賞作】 【2021年本屋大賞ノミネート作】
八月の銀の雪	伊与原 新	コンビニのベトナム人店員が就活連敗中の理系大学生に見せた驚きの姿、シングルマザーが聞いた深海の話、原発の下請け会社を辞めて一人旅する男…。科学の揺るぎない真実が人知れず傷ついた心を救う5篇の物語を収録する。 【第164回 直木賞候補作】 【2021年本屋大賞ノミネート作】
オルタネート	加藤 シゲアキ	高校生限定のマッチングアプリが必須となった現代。東京の高校を舞台に、3人の若者の運命が、鮮やかに加速していき…。悩み、傷つきながら〈私たち〉が「世界との距離をつかむまで」を描く。 【第164回 直木賞候補作】 【2021年本屋大賞ノミネート作】
インビジブル	坂上 泉	成り上がり政治家の関係者が次々と殺された。背景は汚職か怨恨か。刑事の矜持を胸に、中卒と帝大卒のボディが戦後大阪の闇に挑む！実在した「大阪市警視庁」を舞台に描く、戦後史×警察サスペンス。 【第164回 直木賞候補作】
野良犬の値段	百田 尚樹	誘拐された、みすぼらしい6人の謎の男たち。前代未聞の「劇場型」誘拐事件が、日本社会に“命の価値”を問いかける。果たしてこれは事件なのかイタズラなのか。そして写真の男たちは何者なのか。稀代のエンタメ作家・百田尚樹が、とうとう「ミステリー」を書いた！

コロナと潜水服	奥田 英朗	5歳の息子には、新型コロナウイルスが感知できる？ パパがとった究極の対応策とは…。表題作をはじめ、愛と奇想の全5作を収録する。
天を測る	今野 敏	『隠蔽捜査』の著者・今野敏、初の幕末小説！ 激動のさなか、ただ一点を見据えて正道を進む幕臣がいた。これまで誰も描かなかった、もう一つの近現代史がここにある。
NHK大河ドラマ歴史ハンドブック 青天を衝け 渋沢栄一とその時代	NHK出版	2021年大河ドラマ「青天を衝け」の主人公・渋沢栄一。幕末維新の混迷のなかで、農民から武士、江戸幕府から明治新政府、大蔵官僚から民間実業家へと立場を変えながら、志を貫き日本の資本主義を作り上げた彼の生涯はどのようなものだったのか。
渋沢栄一 変わり身の早さと未来を見抜く眼力	橋本 俊詔	幕臣から大蔵省の役人に転身。その後は銀行経営や数多くの企業の設立に携わり、「日本資本主義の父」と称賛される渋沢栄一。社会福祉や教育界への関与、植民地での経済活動など、あらゆる角度からその真の姿を浮き彫りにする。
おしりたんてい おしりたんていのこい!?	トルル	カフェ「ラッキーキャット」に入ったアルバイトの女性を前にすると、おしりたんていの様子がおかしくなり…。絵探しをしながら犯人を探す、謎解き探偵読み物シリーズ第10弾。
かいけつゾロリ きょうふのエイリアン	原 ゆたか	恐ろしいエイリアンが地球を乗っ取りに来た？ 早くつかまえて宇宙に追い返さなきゃ大変なことになる！ ゾロリたちはプーデルはかせの研究所を訪ねて…。

## 【お知らせ】

新しい雑誌を配架しました！

- NHKテレビテキスト「囲碁講座」 ■「すてきにハンドメイド」
- 「ESSE」

